

断面観察による色素沈着評価



SUSCARE

1. 測定条件

色素沈着を評価するために、in vivo 共焦点レーザー顕微鏡を用いて皮膚の断層観察を行った。皮膚に影響を与えない赤外線（波長 785 nm）を照射し、深度1.52 μm ごとに断層観察してメラニンの反射像を取得した。

2. 測定結果

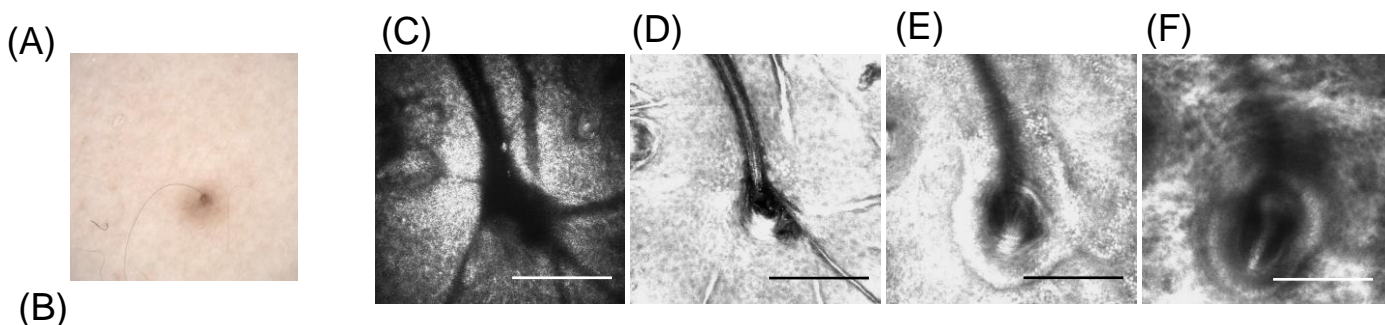


図1. 赤外線照射による断層観察した反射像
(A)はマイクロSCOPEによる観察像；(B-F)は反射像；(B)は角層付近の広範囲；(C)は角層付近；(D)角層より深度42.56 μm ；(E)は角層より深度80.22 μm ；(F)は角層より深度120.4 μm 。スケールバーは200 μm 。

3. 測定結果から得られる情報

- 赤外線は角層から深さ200 μm 程度まで浸透するため、真皮乳頭下層まで反射像が取得できます。
- 色素沈着は組織に蓄積されたメラニン色素によって生じるため、沈着部分は一面反射が確認されます。
- 色素沈着 (A) は、乳頭層付近（角層から深さ80 μm ）までメラニンの反射が確認されたことを示します。

4. 使用機器／利用料金

in vivo 共焦点レーザー顕微鏡
(VivaScope 1500, CALIBER I.D.)

中小企業：2,240 円

一般企業：4,770 円（1時間当たり）

※あくまで参考価格です。試験内容によって料金は変わりますことご了承下さい。
ご不明な点等ありましたら[お問い合わせ](#)ください。